

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年8月分】

1. 実施した活動の概要・状況

8月は、猛暑日とともに天候の悪い日が続くこともあった。軽い熱中症になり肉体的な疲労がたまると同時に、悪天候による屋外での活動の中止などによる精神的な疲労がたまり、全体的に見ても疲労がたまっていることが多かった。その反面、1日2日と大間崎に1泊し海の子アカデミーの講師として参加したり、地域の祭りに参加したりなど、新しいつながりができることも多く、心の持ち方や考え次第で自分をコントロールできることを理解できた月でもあった。

（主な活動）

◇8月1日（火）・2日（水） 大間崎 海の子アカデミー講師

大間で開催された海の子アカデミーの講師として1泊2日の事業に参加した。小学5年6年の男女15名と一緒に、海に興味を持ち、「海の子」になり、現状の問題を解決するために何ができるのかを考えていく目的のもと、現状の海を釣り体験や磯体験を通して学び、さらに魚をさばいて、フライにして、カツカレーにして食べるという内容であった。その中で、大間崎で行う磯観察の講師と2日間の子供たちの安全管理役として参加した。子供たちは函館の子が10名ほど、大間の子が5名ほどで、学校も違う中、それぞれ個性がありつつも1日目の釣り体験ですでに打ち解けあっていた。

活動を通して、「子どもたちの行動の可能性を予測することを養うこと」、「常に次を考えた行動することの大切さ」を改めて学ぶことができた。事前の予測と行動で、トラブルを未然に防ぐだけでなく、次のパフォーマンスを良くすることにつながる。

これは日々の活動でも子供たちの磯遊び体験や、漁師のお手伝い、日々のデスクワークにおいても活かすことができると考える。事前の予測と行動で、常に余裕のあるフットワークの軽い協力隊を目指していこうと思う。



◇8月5日（土） 脇野沢小中ねぶた 運行手伝い

脇野沢小学校の先生の紹介で、脇野沢小中学校の子供ねぶたの制作と運行の補助をした。例年引っ張ってきた山車（ねぶた）がボロボロなため作り直すとのことで、色塗りの手伝いをし、当日の運行における、ソーラン節の旗持ちの手伝いをした。

脇野沢小学校中学校の子供たちと先生方は普段から、学校運営協議会や夢の平成号での解説、ミョウガづくり、景観学習、ナイトバレーなど関わることが多い。そのため、学校の行事にも自然と参加することが多く、私の求めている経験と、学校が求めている人手においてマッチすることが多い。今回もそういう点でマッチし、

行事へのスムーズな参加を許していただいた。

脇野沢小中学校の先生方のフットワークの軽さが、色々なことへのチャレンジと、それを可能とする環境づくりにつながっているのだと考えている。そしてその環境こそ、今の子供たちに必要なものであると思う。なんでもやってみよう精神を忘れずに、自分もフットワークを軽くして取り組んでいこうと考える。



◇8月15日(火)・16日(水) 脇野沢八幡宮例大祭 宵宮・町内運行の補助

以前からやってみたいと考えていた、脇野沢の八幡宮の階段のライトアップを11日に実行した。その際に八幡宮のライトアップつながりで例大祭での船山の山車を引っ張る補助の誘いをいただき、参加した。

15日は宵宮ということで、船山の山車を脇野沢庁舎付近から八幡宮下まで引っ張った。その後、瀬野の神楽を見て、船宿まで引っ張った。16日は午前10時ごろから午後9時ごろまで脇野沢の本村内を引っ張り歩いた。山車は川内の山車と同様に、まっすぐしか進めないタイプで、曲がる時は人力で直角に回転させる必要があった。また、船山以外にも、蛭子の山車、神楽、神輿があり、脇野沢の地区ごとに役割が分かれていた。

山車を引っ張る中で、顔見知りになった人、漁師関係者、脇野沢小学校の子、しえるめーる愛読者の方など、多数の地域の方に声をかけていただくことができた。また、船山だけでなく、「こっちの山車もやって」「神楽をやって」「神輿かついで」と次の年の参加のお誘いをいただくこともできた。

今回参加してみて、脇野沢にはこんなに人がいるんだと気づかされた部分と、まだまだ廃れてなんかいない、活気がある地区なんだと教えていただくことができた。祭りの継承もだが、この活気あふれる場所を今後も継続できるよう、自分にできることを精いっぱいやっていこうと改めて決意することができた。



2. 翌月の活動予定

9月は残暑が残ると予想されながらも、季節的に言えば夏の終わりで秋のはじめとして、体調の悪化が予測される。季節の変わり目でもあるので、心身ともに健康でいられるよう、日々の生活に気を遣って過ごしたいと考える。

9月 5日 慶応義塾大学 倉石氏による研究用ヒトゲ採取 補助 (～6日)

9月25日 脇野沢小景観学習 発表会

8月28日 脇野沢そばに関する可能性の話し合い (～29日)